

## 前週例会の記録(2月16日)

### 出席報告

前回例会 2月16日	前々回例会 2月9日
会員数 53名	会員数 53名
出席会員 45名	出席会員 43名
ビジター他 2名	修正 5名
合計 47名	免除 0名
出席率 84.91%	修正後出席率 90.57%

-来訪者内訳-

卓話 木藤亮太さん・福岡RC1名 計2名

### ロータリーソング

芦塚 日出美 ソング委員

・それでこそロータリー ・ローターラクトの歌

### 会長の時間

竹下 盛人会長



本日は、前回、ロータリークラブの皆様のお陰様で、無事「ボーイスカウト福岡県連盟100周年記念事業」が執り行われました報告と、県連100周年を記念した「オリジナルDVD」をご覧頂きたいとの企画でしたが、DVDが不調でしたので、本日、改めてご紹介させていただきます。その前に、「ボーイスカウトって何?」と云う事で、「なろう。一人前に」というYouTubeを先にご覧頂きたいと思います。

〈なろう。一人前に〉

①1907年イギリスロンドン郊外の「ブラウンシー島」でロバート・ベーデンパウエル卿が、20人の少年達と実験キャンプを行い、それを書式化した事が活動の始まり。

②ケネディ元大統領、ビル・ゲイツ、スティーブン・スピルバーグ監督、麻生太郎元総理、又、宇宙では、アポロ計画で月面に降り立った12人の宇宙飛行士の内11人がボーイスカウトであった事。

「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、

人類にとっては偉大な飛躍である」という有名な言葉を残した、ニール・アームストロング船長はアメリカ最高スカウトのイーグルスカウトであった事。野口聡一宇宙飛行士も又、現役活動中のボーイスカウトである事等が紹介された。続いて、「福岡県連盟100周年記念DVD」をご覧ください。

〈100周年記念DVD〉

昭和天皇が皇太子の頃、イギリスにてロバート・ベーデン・パウエル卿とお会いになった写真から始まり、福岡県連盟発団当時の写真、そして、福岡北ロータリークラブとの記念植樹や、東区アイランドシティでの台湾+韓国合同キャンプを含む、昨年1年間に渡る「100周年記念事業」の紹介写真等が約10分にわたって紹介された。最後に、アポロ計画で、その中枢を成した宇宙飛行士のほぼ全てがボーイスカウト出身者であるという事実ですが、実はもうアメリカでは「ボーイスカウトオブアメリカ(BSA)」という名称では呼ばれていません。今から7年前の2019年「ボーイ」と名称が消されました。今は、「スカウツBSA」と変更されています。何故でしょうか？それは、「女の子も冒険をしたい」を受け入れ、2018年より正式に女子を受け入れたからです。それは、SDGsに基づき「誰も排除しない」の精神です。時代の要望や変化に伴い、組織団体も世の中の要望に応じて、変化していく。それが長く続く組織団体ではないでしょうか。ご清聴有難う御座いました。「会長の時間」でした。

# 週報

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



福岡中央  
ロータリークラブ

「UNITE FOR GOOD」  
2025-2026年度 国際ロータリー会長  
Francesco Arezzo

よいことのために  
手を取りあおう



「少しの成長から始まります  
—1.01で成長、0.99で衰退—」  
国際ロータリー第2700地区  
2025-2026年度 ガバナー 濱野 良彦

「「PLUS」～少しの成長、そして確実な成長～」  
2025-2026年度 福岡中央ロータリークラブ  
会長 竹下 盛人 幹事 田中 明子

本日の例会 令和8年3月2日（第2140回）VOL.49 No.25

卓話

「食べているのに栄養不足？ — 毎日使う調味料が体を変える —」

自分ゴキゲン研究所代表 百田美砂さん

水と衛生月間

今後の  
例会予定

- 3月 9日(月) 卓話 九州交響楽団 専務理事 本田一郎さん
- 3月16日(月) 休会
- 3月23日(月) 卓話 2700地区 RLI委員会 篠原隆好委員長(福岡城南RC)

「人吉梅園（2023.3撮影）」



約8haの丘陵地に約4600本の梅が植栽されており、熊本県最大級の梅園です。主として白系統の梅（白加賀、青軸）で彩られています。梅は鎌倉時代から続いた相良家の家紋でもあり、「人吉市の花」でもあります。令和8年2月22日より3月1日まで「人吉梅まつり」が開催されました。田口一孝